

学校評価のねらい

- ・教職員一人一人が自分の職務に対して責任と自覚をもち、学校教育目標達成に向けて主体的に行動できるようにする。(自己評価)
- ・子どもの意識や実態を把握し、そこから子どもに必要な力を明らかにし、学習指導や学級経営に生かす。(児童による評価)
- ・保護者や地域の方々の願いや思いを汲み取り、「地域に開かれた学校」としてより良い学校になるよう取り組む。(保護者・地域による評価)

中間評価		評価の検討と実施	学校運営協議会 学校評議員の会	公表の時期と方法
	4	・学校教育指導計画書の作成		・教育方針を学校だより・ホームページで公表
	5			・評価年間計画をHPで公表
	6	・学校評価項目の検討 ・第1回評価研修の実施	・第1回運営協議会・理事会 ・教科等評価方法の方向性確認	
	7	・児童アンケート 保護者アンケートを実施		・教科等評価の視点を配布プリント及びHP，懇談会にて伝える
	8			
	9	・第2回評価研修の実施（児童アンケートの結果分析・保護者アンケートの結果分析） →教職員自己評価 授業改善の検討		
	10		・第2回運営協議会による 評価の実施 （学校関係者評価）	・学校だより，HPで結果・改善策を公表
	11			
	12	・児童アンケート 保護者アンケートを実施		
	1	・第3回評価研修の実施（児童アンケートの結果分析・保護者アンケートの結果分析） →教職員自己評価 授業改善の検討	・第3回運営協議会による 評価の実施 （学校関係者評価）	
	2		次年度の方針説明	
年間評価	3	・第4回評価研修 （次年度の方針の共通理解）		・学校だより，HPで結果・改善策を公表